

# 政治学概論 II

## (2) 議会と政府

# 議院内閣制と大統領制

- 議院内閣制

まず立法府（議会）メンバーを選挙で選び、その中から行政政府（中央政府）の長＝首相を選ぶ  
(イギリス、日本など)

※もともと立憲君主制を取っていた国が、比較的多く含まれている。

- 大統領制

立法府の選挙とは別に、行政政府の長＝大統領を国民が（直接）選挙で選ぶ。

(アメリカ、フランス、韓国など)

※立憲君主制を経ずに民主主義となった国が、比較的多く含まれている。

## 議員内閣制（日本などの例）

首相は議会選挙の結果で交代  
議会との関係で辞任（不信任）  
複数党の連立政権となる場合も  
※立法府の与党 = 行政府を掌握

与党の政策推進において強力  
民意（選挙）を受けた政策転換  
行政府に対する抑止力が弱め

## 大統領制（アメリカなどの例）

大統領は任期が固定されている  
(弾劾など特殊な場合のみ辞任)  
三権分立がより徹底される形  
※立法府と行政府が明確に区別

行政府の与党と立法府の与党が異なる場合もある（分割政府）  
立法府の行政府に対するチェック機能が強い

# 日本の二院制と首相の選出

- ・日本の国会（立法府） = 衆議院と参議院の二院制をとる  
明治憲法下では貴族院（勅選）と衆議院（国民選挙）  
二院制の目的 = 多様な民意の反映、慎重な審議、政治空白を作らない  
(世界的には一院制の国の方が多い = 人口の少ない国など)

衆議院の優越 = 予算案の先議権、条約の承認、法案の再議決など

- 内閣総理大臣（首相）の指名
- 内閣不信任案の議決（首相の交代を求める）  
⇒ 衆議院選挙（総選挙）は政権選択の選挙

# 衆議院

議員定数 465人  
(選挙区289 比例区176)  
任期（4年）  
=解散のため平均で3年程度  
で総選挙される場合が多い。  
被選挙権 = 25歳以上

※「第一院」としての性格が  
不明確では？

# 参議院

• 議員定数 248人  
(選挙区148 比例区100)  
任期（6年）  
=3年ごとに半数ずつ改選（選  
挙）され、解散はない  
被選挙権 = 30歳以上

※参院は衆院のカーボンコピー  
との批判が常にある

# 首相（与党）・野党の役割

- 首相は何ができるか？

行政全般の方針を立てる責任者  
官僚（公務員）の長  
閣僚（スタッフ）の任免権  
党内事情で短期間での交代  
リーダーシップの問題  
(大統領と比べてどうか?)  
衆院の解散権（濫用の批判も）

- 野党は何をすべきか？

与党となる準備（影の内閣）  
与党・政府の監視  
異なる政策（対案）の提示  
「政治を変える必要がある」  
のは何故か、説得力ある議論  
※官僚との関係、野党の不利さ

# 二院制の問題点と首相公選制

- ・現行の衆参二院制は妥当なものか？
- ・「一院制」もしくは「弱い二院制」を望む意見も  
→意思決定の明確化、迅速化
- ・現行の議会システムではほぼ2年に1回の国政選挙  
※議会制度の改変には憲法の大幅な改正が必要になる

■首相の選出をより国民投票型に近づけるべきとの意見も  
→首相公選制  
党首 = 首相候補の明確化と政権公約で衆院選の機能を  
首相公選に近づける方式も

# 調べてみよう

- あなたが関心がある国の議会制度、政府との関係はどうなっているか、詳しく調べたうえで日本の制度と比較し、その長所短所を考えてみましょう